

学校名 熊谷市立荒川中学校
所在地 熊谷市月見町2-174
電話 048-521-0213

1 本校の概要

本校は、昭和22年に開校し今年で67年になり伝統のある学校である。「気品ただよい 笑みあふれる学校」を目指している。人とかかわりを大事にし、生き生きとした生活を通して、将来、社会貢献ができる生徒の育成に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実

言語活動など学力向上に結びつけた取組

学校図書館等の環境の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書活動の充実

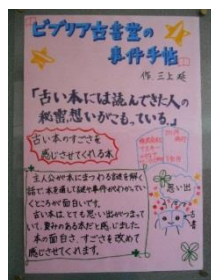
朝一番に落ち着いた雰囲気をつくることと、活字に触れる機会を多くすることを考え、全校で朝読書を行っている。時間帯は8時20分から8時30分までの10分間である。また、自分の読んでいる本の題名を掲示して他の生徒へ情報を発信している。



イ 言語活動など学力向上に結びつけた取組

夏休みの読書感想文にあわせ、生徒に本の情報を多く提供しようと考えた。実際に、どんな情報を提供したらよいのか考えさせながらまとめていき、個別に読書紹介を行った。

ウ 学校図書館等の環境の工夫



学校図書館の利用者を増やそうと図書室前の掲示物を充実させている。これは、図書館補助員が丁寧に行っている。その年の課題図書を中心に構成し、掲示している。また、各クラスに学級用の本を用意している。月に一度の専門委員会で、学年内で本を回し読めるようにしている。左の写真は、学級用の本で、図書館補助員が準備を行っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読書活動の充実によって、クラスが落ち着いた雰囲気与生活している。また、読書に関するクラスの掲示が他の生徒への情報の発信となり、興味を持たせるきっかけになっている。

イ 言語活動など学力向上に結びつけた取組では、あらずじや読者の一言コメントなどを必要事項とし、それを自分の言葉で表現する姿がみられ、作品もよいものができた。作品掲示後、あるクラスでは掲示してある本を読んできたくなり購入するなど、読書の幅を広げるきっかけ作りになった。

ウ 学校図書館等の環境の工夫では、学級用の本の設置により、全生徒が活字に触れるようになった。

(2) 課題

生徒の読む本のジャンルを広げさせていきたいと思う。さまざまな作品に触れさせて、多角的な視野を育てたいと考えている。これからも効果的な情報の発信を工夫していきたいと思う。